



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆のことは少し知っていたけど、原爆先生の話を聞いたらこんなこともあったんだかと思いました。

池田義三さんの経験を聞くと広島  
の状況は、すごく大変で3分間の  
ビデオを見て、心かくなるしくなる  
くらいつらそうでした。

広島市の人口は、35万人で死者数は、  
14万人なくなっていて、2万人は、  
一瞬でなくなった人もいてすご  
くかわいそうでした。私は、もっ  
と原爆のことを調べてみたいで  
す。



授業をとおして、わたしは原爆のおそろしさを  
知りました。

大やけどをお、て泣いているおや手などがとれ  
てしま、ている人の悲し、いた、辛、を考、え  
ただ、け、でも悲しくな、ります。

夏は楽しい、ことは、かり考、えて、いた、けれど、み  
んなが、楽しく、している、70年、ぐ、ら、い、ま、ぐ、に、ま、ご、い、  
何、百、人、か、の、人、が、た、な、た、の、で、八、月、六、日、は、も  
く、と、う、を、し、て、ま、た、戦、争、が、お、起、な、い、よ、う、に、お  
い、の、り、を、し、た、い、て、す。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を通して、戦争は関係のない人もまきこみ、むだな争いだということが改めてわかりました。しかし原爆はもっとひどいものだという事も知りました。今まで、原爆は空で爆発するふつうの爆たんより少し強いノライの爆たんだとは思っていましたが、今回の授業でふつうの爆たんよりも何百倍を大きくて、これいことがわかりました。いっしょでたくさん人の命をうばってしまうような爆たんを私は絶対につくってはいけな、許してはいけなと思いました。原爆を落とす候補になた場所は広場と長崎くらいしか知らなかつたけれど、京都も新湯も、それに横浜までもが候補になつたことに私はとてもおどろきました。私はもう二度とこんな戦争をしたくない、おこしたくもないです。いろんな人が死んでしまうだけだからです。原爆先生の授業で原爆のことをわしてでも多くのことを知ることができました。今回学んだことを私は一生わすれません。



まずは、貴重な時間をありがとうございました。  
本々僕は歴史が好きでその中でも戦争には興味  
がありました。でも中身は違いました。黒こげの  
死体にちりになって消えた人。正直聞いている  
だけで恐怖とにんなことが実際に...という  
気持ちで体にかが入らず生きた心地が  
しませんでした。僕は改めて戦地に行て  
戦った人を尊敬します。国の名令だからと  
いて僕は命と引きかえに国を守るなんて。例  
えそれが国のためになるとしても絶対にやだ。  
この授業で生きることの大切さ。また死ぬこと  
のつらさを実感しました。本当に貴重な時  
間をありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

話しを聞き、前に行った原爆資料館のことを思い出しましたが、

それよりも話しはショックで恐ろしいものでした。

原爆の落ちたころ生きていたひいじいちゃんにも聞くきか

はなく、本能的に実際におったことを聞くのも

初めてで「恐い」や「んがのいせ」という一言ではとても表あせな

い気持ちになり思いたすたびその気持ちになります。

「戦争」というこの言葉がなくなり争いのない平和な世の中

よりもいい世界ないと思います。そして、ひ爆者のかたが

がわいそうで、しかたがわいです。

長崎にも原爆が落ちたらしいですが、本当に原爆で亡く

たられたかたは多いので、それかくりかえさないように

後の世代へと語りつぐのが大切なことだと思います



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆資料館に行ったことがあります。なので、原爆のことは大体分かっているつもりでいました。しかし、先生の授業を受けて、私の想像を大きく上回るひさんさだ、たということが分かりました。先生が手をひはるうとしたら皮膚がはかれおちてしぼろが見えたと教えてくださった時に、思わず想像してしまい、とてもこわくなりました。想像するだけでもこわいののに現実でもしそれが起こり、もしその人が知っている人だ、たさ...と考えると改めて戦争がどれだけひどいものなのかを実感します。原爆にあっても生まられた人は幸せだといっしょにだけ思いました。が「原爆病」という後遺症が残ってしまうときいたことや「ナカサキの花」という本に差別のようなものをうけたとかがかかっていたことから生まられても死んでしまってもど、ちにしる辛い思いをしてしまう原爆をなぜ日本におとしたのか、なかつくしてしま、たのかと思っ、一生できなければ良かったのにと思っ、た



原爆先生の特別授業を受講して

表

太陽<sup>日</sup>みたいな物が地上から600mの所にあると考えただけですごくおいしながさきひろしまの人はとてもかなしく思えた。

原爆先生のお父様が原爆をおとされた時とさに目をあさえていたから単位の練習をいっばいして班長をつとめて大層だと思った。

いびり大きな声を出してびっくりしたけど本当の原爆はもっとすごいと思うからすごくおもう。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今までは原爆暴の話を知りてもそんな  
 だにきにしなかつたけれど原爆先生  
 生の授業を受けて今まで思っていた  
 よりもよくて原爆暴のお話を知ら  
 ずかできました。原爆先生の話を聞  
 いたとき、3人に1人が死んだことにな  
 ると言われてすごくびっくりした。1家族  
 1人が2人は死んでしまうくらいのことだから、  
 より原爆暴のお話をやっておろし  
 ずかを知ることができました。





私は、原爆が太陽よりも熱いことを知  
っておどろきました。太陽が落ちてくるので  
さえ熱く、鉄が一瞬で気体になるん  
で想像できないからです。

また、キノコ雲ができる理由も初めて  
知りました。原爆のけむりかと思いま  
したが、上昇気流だということを知  
てなるほど、と思いました。

原爆を受けた人はどれほど熱くしてい  
たか。ただろうかと考えました。  
なので、二度とこういうことが起こ  
てほしくないです。



- ・この時代に生まれてよかったと思った
- ・本物の原爆にあて、全身にやけどを負った人を見てみた<sup>11</sup>と思った
- ・今までは原爆については少ししか理解していなかったけど、授業を聞いてよく知れた

授業をしていただいたこと、まことにありがとうございます  
ました

名前(若林哲矢)



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までは、広島原発は、多数の死者を出した  
ことだけしか、あがっていかなかったけれど、原爆  
のおそろしさも、この授業ですらもくわしく知  
ることができました。

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

この間は私達に原爆について教えてくださり、ありがとうございました。私は原爆についてはうとからたのですが、先生の話を聞いたし、ビデオを見たりすると、改めて本当にひどいものだと知りました。私が親になつたとき子どもにちゃんと伝えたいと思います。話の内容はビデオがあつたらに場所が分かりやすかつたです。90分間ありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾はとってもすごいと思っていたが、原爆先生の言を聞いて、原子爆弾のことをくわしく知った。例えば、原子爆弾が爆発した直後の表面温度は、太陽の表面温度よりも、1000℃高い。音よりも速く、衝撃波の方が速くなる。なぜなら、音の速さは、秒速340mだが、衝撃波の速さはなんと、秒速440mだから音よりも速く衝撃波がくる。原子爆弾が、たった一発だけで、35万人もいた広島人口が、死者14万人、被爆者24万人と残っている。この結果から、原子爆弾を受けたら、死亡率は、100%中40%も高い。ぼくは、原爆先生からこのような話を聞いて、とってもびっくりした。ぼくは、原子爆弾で被害を受けた人たちがとてもかわいそうだと思った。



私は、広島<sup>の</sup>原爆<sup>について</sup>全然知らなかったけど、授業を受けて、ものすごく怖いものだった。人が多数死んでしまったこと、落ちる時7000℃ほど近くの温度だったこと、など全く知らなかったけどたくさん分かりました。原爆の害は、500mくらいかな？もどかな...と動画を見る前か思っていたけど、そんな小さくなくとも、広い所までも害があって90%で死んでしまうということにおどろき、怖くなりました。皮ふかはかれたり全身黒、黒たったりしている人々が町全体いると思うともっと怖くなりました。広島にいた人々はこんなに怖い思いをしていたと考えると悲しくもなりました。「助けて...」という声がありトラックに乗せようと手をつかんだら、皮ふかは外れ落ち、その人は「いたし助けて...」と言っていた。と言っています。その時、助けたい気持ちがあるのに助けられない。そうなることも心苦しいというのが想像できるとも、<sup>心</sup>凡<sup>心</sup>しかたとも思いました。広島のことあまり思っていなかったけれど、この授業で、ものすごく恐しく怖い。ということがわかりました。



- ① 広島以外に、どこの県がこう被害かかかったか
- ② 自分が一番知りたかった、原爆が爆発したときの温度が知れた。  
(爆発したときの温度が100万度というのにおどろいた)
- ③ なぜアメリカが「リトルボイ」を原爆につけて投下したのか。
- ④ なぜアメリカが原爆を投下したのか  
(なぜ戦争をするのか)  
(自分の命がなくなる、てあかっている)
- ⑤ 原爆が落とされて一ヶ月で消えてしまった人はかおんそうだと思っ。
- ⑥ 戦争は、思い出すだけでもこおんといふことがわかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことがよくわかりました。

「リトルボーイなど」の講義は学校の授業では習ってなかった  
ので、この勉強になりました。

大人になると、もっとたくさん知ることが多いので、  
せいかかになって、外国と仲良くしたいです。





少しは原爆について聞いたことはあったけど、  
今回のお話を聞いて、原爆のおそろしさが  
よくわかりました。特に爆発したときに、  
直径200mの球体になって、中心部は、  
100万と平面の温度が太陽よりも  
あつい7000とということを始めて  
知っておどろいた。あと、原爆の熱線  
で人の中の水分がいっしょで蒸発して  
すみになって、その後のしょうけき波で消  
えてしまうのがすごくおどろいたし  
しょうけきをうけた。



ぼくは、毎年夏に原爆のことを扱っているテレビを見て  
いるので、今回の授業では、知っていることが多く  
出てきました。でも、詳しいことは知らなかったの  
とても勉強になりました。この授業で一番心に残った  
のは、皮ふがたたれた人をトラックに引き上げよう  
として、手の皮が取れたことです。この話は前に  
姉から聞いたことがありました。その話を  
聞いた後は夜寝るときもこわくて寝られません  
でした。それでまた今日その話を聞いたときは  
思わず身震いしました。でも、その現場にいた  
人はもっとこわがただらうと思いました。  
もう、戦争のない平和な世の中になって  
ほしいです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

・とても、原爆はこわい物だとわかった。

・きゅうに「フー フー パーニ」と言っていてとてもびっくり

して、2回目「フー フー フー」と言っていたので

「パーニ」と言うのかと思いますとても、こわくて、も

うな、てほしくなりと思いました。この感情よりも、

もっと、その人たちはこわかったと思った。

・罪もない人たちが死んでしまうかなしさが

わかった。

・この授業では、たくさんのことについて、

よくわかった。



広島での原爆が私の知らないくらい大きくて、とてもこわかったし、おどろきました。

そして、原爆先生のあのなりきりが、今本当にその原爆が落とされた広島にいる気分になり、なみぎがこみ上げてきました。

「助けて、助けて…」の部分のうでかはずれるところが本当にゾッとしました。

私は本当に「原爆をあまくみてもいけない」と、そう思いました。

本当に、とても、とてもおそろしかったです。

しかし、それをいまでも苦しみながら生きていく人の気持ちにはあのビデオ原爆先生の話を聞いて、とてもよく伝わっています。

兵隊いさんたちは原爆で苦しんでいる人を助けようとするその勇気とやさしさが私も、ものすごく感動しました。私も、もし、なやんかいたりしていたら、「どうしたの」と聞く勇気をも、て学校生活を送りたいと思います。



原爆が落ちた当時のことを話されて、聞きながら想像してみると、体がゾクッとなりました。原爆のせいで皮ふがただれ、うでをななめ前にして歩く人々のことが、とても「かわいそう」と思いました。

広島原爆のことは、自分では「ある程度は知っている。」と思っていましたが、この授業で、あらためて、「原爆はひどいものだ。」と思いました。

この90分で、原爆の被害にあった人たちの気持ちが、少しでも知ることができたかなと思います。

そして、戦争は二度とくり返すものではないと思いました。

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

・ぼくはもともと原爆ということを知っていた  
のですが、今日この授業を受けてくわしく原爆の  
ことについて知れて次の世代の人へ受けつきた  
いと思いました。

・原爆は高い所から落とすのは知っていた  
映像を見るととんくいの早さでおどろか  
すてすてびっくりしました。

・ぼくは、夏休みに長崎県に行って平和公園や  
原爆しるし館に行くので、さらに戦争はこわいな  
なと思いました。

名前(大野 深乃)



原爆先生の特別授業を受講して

表

一回目のビデオを見て、  
原爆のおそろしさが、  
よくわかりました。  
原爆先生の説明がわかりやす  
くて、うまく、そうぞうできた。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

8月6日の広島のことはいたいたいのことは知っていったけどこんなにくわしく書いたことはあまりありませんでした。げんぱくのことを書いて改めてこわいなど思いました。と中、えいそうを見た時<sup>じゆうこう</sup>もとてもこわかったです。何万人の人が焼け死んでいるのがとてもかわいそうに思いました。でもげんぱくで新しいこともたくさん知ることができました。今日のこのお話を書いてたくさん知ることを知ることができました。なのでこのげんぱくのことを知らない人も多いと思うので次の世代にも伝えていきたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の話やビデオを見て、戦争なんか何があってもしてはいけないと思った。

原爆の被害にあわれた方をトラックに乗せようとしたけど皮ふがはがれ落ちて、乗せられなかったという話を聞いた時は、鳥はたかびたった。だから、原爆は糸色対にあててはいけないと思った。



ぼくは、原爆のことについて、詳しく話してもらったことがなく、今日この授業を通してとても原爆のことについて詳しくなれたと思います。ぼくがこの中で最もびっくりしたことは3つあります。

1つ目は、広島・小倉・長崎以外にも、横浜・新潟・京都も候補になっていたということです。広島・小倉・長崎は知っていたけど、他にも候補があり、もし横浜に原爆が落とされたらこの地域にも来るかもしれないなくて、今にも影響があるかもしれないからです。

2つ目は、原爆の表面温度が7000℃だということです。太陽でも6000℃で、その原爆が上空600mという近さにあったらとても暑いと思うからです。

3つ目は、原爆雲ができるには、1回真空地帯になりその後周りに空気が入ってきてその空気におされてできるということです。ぼくは、これを聞く前までは原爆で爆発した時のけむりがまい上がってできると思っていたけど、全然ちがったのでびっくりしました。

今日は原爆について、色々なことが分かったなので、このことを



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

思っていた時よりもとてもこわかった。

戦争の中を生きぬいた人たちに

感動した。被爆地から150mの地下  
にいた人が助かったことにおどろいた。

なぜなら、地下だと建物がかずれて  
下じきになるのかと思ったから。

戦争は絶対にはならない  
と思った。

これからも原爆のことを語り  
つぐべきだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくはこの授業を受ける前は  
 原爆ってどうゆう物、どうゆうはげし  
 さなのかなと軽い思いでした。でも  
 この授業を通して、どうゆう物なの  
 が、そして、原爆のはげしさがよく  
 分かりました。そしてすごく印象が  
 たい、おねがいたかったです。いい経験  
 になりました。



ぼくは原爆はおそろしいものだと思っていたけど、話を聞いて想像を絶おそろしいとおそろしいものだ”と気づきました。

なかでも一番おそろしかつたのは熱風で体の皮がなくなると人間ではないというところが怖かったです。

でも、そのおかげで戦争の原爆はぜったいに投下してはいけないというに気づかせてくれました。

お交さんのけいけんを話してくださってありがとうございました。

げんぱく先生の授業を受けて... 植村 咲恵

今回、げんぱく先生の授業を受けて戦争のつらさがよく分かりました。私は今まで沢山戦争の話や本など見て何も感じませんでした。けれど、今日は、3つの動画と資料を見て戦争の時代を生きぬいた。

よしろうさんのつらさがよく分かりました。私が見た資料を見て一番びっくりしたのは、戦争で亡くなった人の数です。広島は人口は35万人、死者14万人、で死亡率40%です。これは5人に2人が亡くなってしまおうという事です。これは今の日本で考えられません。5人に2人が亡くなるので、今は戦争によって亡くなります。

そして、そのばくたんの直径200m、100万tもあり、広島に落ちた。3000tになってます。たいたい600mは東京スカイツリーと同じです。もし、広島でなく今の東京に落ちたら、大変な事になるでしょう。私は2番目の動画を見て、ばくたんが落ちた時に人がとんでいなくなるすかたを見て、今の自分達は幸せだと思いました。

今は戦争はないけれど、いつあるのか分かりません。なので私は、戦争で亡くなった人の気持ちをよく考えて、行動し、あやみやたらと暴言などをはかないようにしようと思いました。

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

ぼくは、原爆<sup>ひら</sup>に対して、真<sup>ま</sup>にむきあつたことが  
ほとんどなかったのて、特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して、  
色々なことを感じ、思いました。

広島<sup>ひろしま</sup>の原爆ドームには、行ったことがありました。

初めて見た時は、なぜ、こゝに死<sup>し</sup>ったのだらうと  
思いました。昨日の話を、もう戦争はおこつて  
ほしくないと思ひました。兵隊<sup>へいたい</sup>だったら、とつさに、

目をおさへ、耳をおさぐることができるだらうけれど、ぼくは  
ちが、おつた人では、絶対にできないことだと思ひ

ので、昨日、その話を聞いて、兵隊はすこく

大変な仕事をしていて、死にものぐるいで、国の人達  
を完<sup>かん</sup>ていするということを感じました。原爆先生

が昨日、はかくきとばくたんのよきをしてくだ  
さいましたか、おれよりも、何倍も大きい音とすこく強  
い光だったというこゝを改めて感じました。

ぼくは、兵隊には、なりたくないけれど、目と耳  
をおさぐることが、他にも助かる行重<sup>ゆきむね</sup>力があるのて

おれは、それをとつさにできるようにしたいと思ひま  
した。

名前(重満 けんたろう)



原爆先生の特別授業を受講して

表

何かがそのまをこらしてはうげんばくはく  
 もおそろしいと思つた。原爆のまわりの量  
 度が七千度だったことにおどろいた。げん  
 ばくのばくし土地の場所はい、いってたてものが  
 消えたりするのがびっくりした。せつろはいけなくて  
 思つた。





原爆先生の特別授業を受講して

表

7/12

原爆先生の特別授業では、原爆先生が「まだいかりが、広島市の原爆のことがよくわかりました。戦争で大量の死者を出した広島市を今のように元に戻すには大変だったんだ」と思いました。一ばんびらくりしたことは、明中に原爆の光を「ヒカ」ていた「アト」も、リウは音が大きく、「ぼく」全員がかど、ういていたからと、

「ぼく」は「ぼく」が知ったのは、広島市ではなく広島市の上空で原爆が爆発したことで、広島が長崎以外にも小倉などの候補が「あったこと」や、原爆は「原爆」ドーナツは昔、広島県産業奨励館という名前のたて牛物だったという「こと」が広島に落ちた(上空で爆発した)原爆が「リトルボーイ」という名まえだったこと。ぼくは、これから世界中、1ヶ所も原爆が落ちない平和な地球にして行きたいと思えました。

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を通して、原爆は人や物を破壊して、危険にするので、もう原爆は落とすのはやめてほしいと思いました。

原爆先生のお父さんは動画を見たので、言っていていてそれをほと「恐ろしいことなんだね」といふことが分かりました。

体が崩れるといふのは想像がつかなくて小布いなと思いました。

名前(加藤和美

じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表



私は、原爆の事など全然分からなかったけど授業としてよく分かりました。

原爆ドームや、みな実野のことについてよく分かりました。

また、もっと知りたいたい事や疑問の所もあります。

なので本やインターネットで資料やホームページ...のように

と、このまま生かしたいと思っております。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

7/12

私は、このような話をここまでくわしく聞いたことがありません。

午前原爆先生がマイクを口に近づけて「ブゥ〜〜〜 フゥ〜〜〜」と言

ました。最初は何をしているのかわかりませんで「LT。フゥ〜〜

〜〜 フゥ〜〜〜」そして…ピカッ 私は本当におどろきました。みんなも

おどろいていました。とっても怖かったです。間に少し話をはさん

で「またフゥ〜〜 フゥ〜〜」私は怖くて怖くて耳をふさぎました。

いつくるかわからない…私はいつくるかわからない本当に怖

くてしょうがない 実際はその場にいた人の気持ちが分かってきた

と思いました。当日そこにいた人々はどんなに苦しく、つらい思いで

も、にげ場がないじょうたい…本当にかわいそうだ”と思います。私

たちが今、こうやって楽しく生きていられるのは本当に『奇跡』としか

言えません。

他にもいろいろな怖い話をしていました。私はその話を聞いている

だけでも、苦しく、つらく、悲しかったです。原爆先生のお父さんの

映画(話)を見ながら(聞きながら)少し涙が私の目の下に来

ました。しかし私は上を見て涙をこらえました。本当に悲しいお

話でした。

これからは、その人たちの気持ちを考えたいと思っています。


 原爆先生の特別授業を受講して
 <sup>じゅこう</sup>

表

私は原爆先生の授業を通して、人がきずらいて喜ぶ人はいないということ、人は残酷ということを感じました。一つ目の人がきずらいて喜ぶ人はいないということは原爆によって人がきずらくと身内はもちろん悲しくむし、他人も新しいぎせに者が増え悲しおからでず、二つ目の人は残酷ということは私たちは性格や見た目、言葉などがちがいますが、ですが同じ人間ということは変わりません、なぜ、同じ種類の間人間が人間を殺し、戦わなければならぬのでしょうか。争いはなにも生みません。私は広島で起きた原爆の話を生かすために未来でもこんな悲しいことは起こさないとほしいと思いました。これからも今回の授業の経験を生かしてニュースや新聞を読むとモは自分の意見をしっかりとつようにしたいです。



今回の特別授業を受講してほくは最初、原爆  
というものはある程度知っていたけれど、今日で原爆のは  
とんでもなく知れたと思います。

今日ほくが一番おどろいたのは原爆が落ちて周  
りにいる人は一瞬にして死んでしまうということでした。

最初ほくはそれを聞いてよく理解できなかった  
たのですが、それについてくわしく説明を聞くと、理  
解できました。その理解できるときはものすごくいいお  
ろしいことだと分かりました。

次に原爆そのものの説明でほくは以外にも  
原爆の大きさにおどろきました。ほくはこのことを知  
るまではすごく小さいほくだんたてだと思っていたのですが、  
今回そのおどろき方が分かりました。たしかにこの大  
きさがあればそのぐらいの力はありそうだけれど、知  
れなかったです。今回ほくは原爆について知っていた  
ことも知らなかったことについてくわしく知れて  
よかったです。それに今まで以上に原爆の危険さ  
についても知れてよかったです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、戦争は想像していたよりもはるかにおそろしいものだと思いました。先生のおっしゃっていたことは、考えるだけでう、となるほど残酷で、実際に体験した人は私たちにははかりしれないほどの深い絶望や悲しみにおそわれたのではないかと思います。太陽よりも熱い、7000℃もの爆弾が落ちてきて、人間は体中の水分が蒸発して陰になる。私は前に読んだ、「かけ」にならたいろろ」という本を読んだことを思いました。そうか、陰になる。てこういうことだ、たのが、先生に写真を見せてもらい、原爆が落ちる前、ここに人がいたんだなと考えると、人間、てこんなにあ、けなないんだと思いました。14万人もの人かなくなり、今も多くの人か苦しんでいる広島原爆。国領小の児童数かおおよそ420人(?)。その300倍以上の人が一瞬にして亡くなりました。気の遠くなるような話ですが、信じたくないけれど、全て現実にあ、たことなんですね。こんな悲しいことしか生まない戦争は、もう二度と起こ、てほしくないと願います。

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、原爆先生じゅこうの授業を受けてあらためて原爆はこれだと思いました。

原爆の威力で「ムスカ」はかき平て肉が骨まで見えてしまっている人がけ「ただ」って言った人がいるという事も分かりました。

これ原爆は半径3.2kmで重さが4トンで温度がおよそ6000℃よりも高い10000℃でばくしん場では3000℃という金属を溶かすことが出来る1500℃の2倍の温度だといふのでさらにびっくりしました。

さらにしるげき波の速さが毎秒440mが空気に熱せしかして広島県の産業奨励館という所が今の原爆ドームの跡を聞いて見比べてみると屋根のドーム型のものがあつたけれど、原爆はまじいかわがなまじいということも分かりました。

なので、原爆の怖ろしい平和な

世界にしていはいりました。





物語やテレビで、原爆について説明されているけれど、それだけでは伝わらないようなおそろしさが伝わった。一番おそろしいのは、威力を知っているながら原爆を投下する人間がいること。その時代には、兵器でおさえつけるのではなく、話し合っ、て平和にやっ、ていこう、という考え方がなかったこと自体がおどろきだった。

今までの原爆の話とは違い原爆の細かいことまで知った。特に、中心温度が100万℃の物が頭上に浮かんできたら、「熱い」だけでは表せないほどだと思っ、し、人が一瞬のうちに消えてかけたけになるなんて、画像を見るまで大げさだと思っ、た。しかし、画像を見ると、本当にそうなるようなことがあるんだ、と知った。同時に、太陽より熱い兵器を作ることが出来る、人間の技術に、背筋がゾー、とした。

授業では、どれも聞いて「うっ、っ」と痛いような気持ちになることはかりた、た。そんなことがないように、私もできる限りのことをした。



僕は、ある意味平成に生まれてよかったと思いました。

僕は、昭和二十年に落ちた原子爆弾の事を思うとゾッとし

ました。けれどB29の事がエノラ・ゲイということを知ればし、

いろいろな事が知れた。僕は、原爆を落としたアメリカ軍に

少し日本の事を思ってくれているなと思った時がありました。

それは原爆を落とす場所でした。候補になった六つの都市の

中に京都があったがアメリカ人の人ははずしてくれたと

ころがよかったです。

名前(赤澤 啓吾)



原爆先生の特別授業を受講して

表

これまで原爆について深く考えたことがなかったの  
び、しかも興味をもちましたリアルな原爆の音など  
から、その時の状態が良くわかりました。原爆  
のこぼれ、いか、形など詳しい情報があつたの  
でわかりやすかったです。この上なことは二度と  
起こしては行けないという事を後世に伝え  
いかないとダメだと思います。



今日、話していた原火暴は、とてもこわが  
ちたです。あの時代に生  
きていた人は、大変だった  
と思いました。炎で死んで  
しまった人たちは、かわい  
そうだと思います。  
ほくは、この原火暴みたい  
なこととは、また、おこっ  
てほしくないと思いました。

原火暴がおこってしまうと死  
んでしまう人が多くなって  
しまうので原火暴はおこ  
ってほしくないと思いました。

原火暴の話をしてくれて  
ありがとうございます。



まず、原爆はこわいと思いました。後何十年も生きられる人々の命を一しゅんで消してしまつた。このことは何十年、何百年たつてもわすれてはいけななものだ"と思いました。次に、その原爆を体験した原爆先生のお父さんが奇跡的に生き残り、被爆者の人間とは思えないほどの姿を見たときのとてつづい思ひがよく分かりました。日本が二度原爆を落とされ、その悲しさやつらさを知つたから今の日本に原爆が落とされていないと思うので、その時一生けん命働いてくれたお父さんに感謝しています。最後に、特別授業を受講して、改めて原爆のこわさを知りました。なので、一しゅんで人々の命を消し、家などをこわしてしまふ原爆はもう二度とあつてはいけななものだ"と思ひます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

本当に、戦争は怖いなと思いました。なぜなら、原爆が落されたり、人が消えて、かけになって  
 まうからです。私が、原爆先生の話など、VTRなどでみて、一番印象に残っているのは、人が消えて  
 しまうことです。「かけにならないうらう」という本のように、人が消えてしまうのは、ありえないと思っ  
 ていました。でも、本ではなく、本当にVTRでそのようなものが、でてきたので、心の中で、「え?!」  
 と思いました。後、原爆が落された後に太陽が6000℃より高い7000℃になってしまい。  
 そして、  
 人が溶けてしまいました。原爆先生の話の中で、原爆が落されてしまったシーンの所では、  
 心臓がとび出るほどビクッりました。私達がビクッりましたのよりも、もっと原爆  
 の音は、大きいので、町の人はとてもおどろいたと思います。その時の人は、心臓がとび  
 てるくらいでは、ないと思います。その原爆のせいで、たくさんの人達が犠牲になっ  
 てしまいました。本当に悲しいです。一番最後の、原爆先生のお父さんの話では、お父さんが、  
 泣きながら、話していて、その姿を見ていると、とても、心が痛くなりました。  
 その中でも、「私達はみんなに平和な暮らしの世界に生れて本当に良かった」と思っています。  
 私は、本当の本当に、この世界に生まれて本当に幸せな子供だと改めて、心から思っ  
 ました。この授業を生かして、これからこのような時代を忘れないようにして、ずっと心に  
 しまっておこうと思いました。



原爆はとてもおそろしくて、もうこんなことはまにどとあこなつてほしくないです。お話の中で心がいたくなるような言葉ができてとてもかなくなりました。もし、私がお話にできた兵隊いなかこわくてひがしやを見ることができなくなります。

原爆以外にも戦争はよくないと思います。これかかなにがおこるか分らないけど戦争だけはやりたくないです。そのために原爆先生でなかつたことをみんなに伝えて、これかかも戦争をおこさないようにしたいです。

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私はおばあちゃんか小学生の時原子爆弾を見ていたので、少しは原子爆の怖さや戦争はしてはいけないなどということを知っていました。しかし原爆先生の授業では戦争で命を落とした人が5人に2人と書いていました。ということは私は5人に2人の中の2人にふくまれていたかもしれない。私が必要としている人が5人に2人の2人に含まれていたかもしれない。とても不安で何かあっても戦争をしてはいけないしと思いました。また、大層の温度が6000℃で原子爆弾は7000℃と書いていて、いっしょに人は焼けてしまうと思っておそろしくなりました。次に原爆先生の父が語っていたことについてです。原爆先生の父親は少しの希世きにより救われたと書いてありました。しかも10mも先に飛ばされたのに軽傷も追わなかったというのが一番すごいと思いました。私はこのことを聞いてきちんと体をきたえようという大切さを知りました。

私がこの学習を通して一番大事だと思ったことは「戦争は何があっても絶対にしてはいけない」ということです。くむかいても絶対に戦争はしてはいけないと思いました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表



ぼくは、今日原爆先生の話の話を聞き  
原爆はおそろしいと思いました。

なぜなら1回落しただけで五人のうち  
二人も死んでしまうからです。

ぼくは不心義に思いました。なぜな  
ら、そんなに強い力のばんだんを  
良く研究できるなと思いました。

原爆先生のお父さんは、17歳の時に  
兵隊になったのはおどろしいと思いました。ぼくなら  
17歳で兵隊になれないなと思いま  
した。なぜなら自分が生き残るだけ  
で大変なのに町の人々の命を守らなけ  
ればならぬのは大変だからです。  
ぼくは二の時業を命けてぼく達は  
ふつうに生きていくけど戦争の時の  
人は、命がけで生きていくのでぼくも  
命を大事にしたいです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

体がぞ、としました。いっしょんで人がすみの回りになる  
と聞いて、自分で想像するとこわくなりました。太陽の表  
面の温度(6000℃)より1000℃高いのですごく熱いということが  
分かりました。原子爆弾投下都市の条件が3つもあるという  
ことなのでもし原子爆弾投下かすることになっても「3つの条  
件がそろってほしくない。」と思いました。広島市の人口35万  
人から被爆者数が24万人で死者数が14万人、5人に2人が  
死亡していると分かるとさらにこわくなりました。死亡率が  
40%なのでもし自分が広島市に居て原爆にあっていた  
らと思うと本当にふるえそうになりました。私は今日  
の特別授業を受講しても、と自分を大切に大事にし  
たいと思いました。また、夏休み中に原爆の日があるので  
広島市で亡くなった人をおわびたいです。



ぼくは原爆先生の特別授業を受けて少しおれ  
 と感じました。原子爆弾が投下され地上に  
 落ちたら3000℃にも達する事が分かってびっくり  
 しました。原爆先生の爆弾の音を聞いたとき非常  
 に大きい音でぼくはこれが町に投下されたはず  
 びりんとするんじゃないかと思いました。3000℃  
 の物が落ちてくるなんて想像以上でした。被爆  
 者のうでなどの皮はツギンで持ち上げるとおぼろ  
 とはがれると聞いて考えてみればこの感じは正し  
 くないかと思いました。ぼくはこんな原子爆弾  
 を落して何の意味もないたくさんの方が死ぬだけ  
 なのにと思いました。外国の人はこんなことを考  
 えてまでも原子爆弾が必要なのか疑問に思いました  
 池田義三さんは原子爆弾がいつ落ちてくるか  
 分かんないのに勇気があつたかと思いました。  
 ぼくは原子爆弾はこれ世にあってはならない物  
 だと思います。なぜなら、被爆者や死者がたか  
 出乙町もなくなってしまうからです。ぼくはこの  
 ような事はもう二度と起きないでほしいと思っ



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆の恐ろしさといかを改めて知り、とても怖いものだと思います。特に私がおどろいたことは街がこわれるほどの力です。原爆が爆発したときにできる球体の外側の温度は7000℃にもなり、これは、太陽よりも高い温度です。その球体が高さ600mの地点から落とされると、爆心地は3000℃にもなります。私は、スカイツリーの高さから、太陽が爆発すると考えると、とんでもない兵器であることが分かりました。また、目撃者の証言によると、目の前を歩いていた親子が一瞬で消えたそうです。これは、人間の炭素がものすごい熱により一瞬で燃え、そのまま炭となってしまったと考えられるそうです。それに、原爆先生の父であり、実際に原爆を体験したよしろうさんは、原爆によって、皮膚がはがれ、指先から粘液が出ており、肉まで見えてしまっている姿は、もはや人間の容姿ではないと話していました。私は、その姿を想像するだけでも、むねが痛みました。これらの方のことを聞き、もしも今、この瞬間に原爆が投下されたらと考え、息苦しさや恐ろしさを感じます。これから私達は、平和を大切に、その幸せをがみしめながら生きていくべきだと思います。



私は、あらためて戦争のこわさを知りました。話を聞いて  
いるだけで、戦争のむさかさわかりました。私も、きっかけ  
は忘れたけれど、一時期、戦争が起こるかも、と考え、  
ものすごくこわかったのを覚えています。今でも世界中  
で戦争が起っているけれど、なぜ世界は平和に  
ならないのだろう。なぜ罪のない人達が苦まなくちゃ、い  
けないのだろうと、いやでも考えさせられます。戦争は  
これ以上起こってほしくないし、起こらないでほし  
いと思いました。



ぼくは全然原火暴のことは知らなかった  
 けれど今日引いることを知りました。  
 昔話を聞いて思ったことは引いる人  
 人がしてその人たちが助かるとは原火暴以外  
 ならできずかもしれないけれど原火暴の  
 ときに人を助けるのはわたくしはわたくし  
 たがなあと思いました。ぼくはその引く  
 土場に入ったときバニッパになってしまっ  
 て何もできなくなってしまうと思うけれど  
 その引く土場にいた兵隊さんたちは死なな  
 かに生きていていたと思うとすっぴいな  
 あと思いました。次にえいぞうを見て思  
 ったことはあの一つの原火暴で多くの人  
 が死んでいると思うと原火暴はえいぞう  
 で見つけたあすくらいはすっぴいなと  
 たった一人だなあと思いました。ぼくは  
 その時生きていたからたのびがな  
 ないけれど今日学んだことを生かして  
 がんばらしていきなうなあと思  
 いました。



私は、この原爆先生の特別授業を受講して  
改めて戦争でこわいなと思いました。

特に原爆は、こわいと。たった一つの爆だんで  
あんなにもものたくさんの方が死んでしまい、  
町一面あんながれきの山になってしまう。  
とってもこわいことだなと思う。今まで、

原爆のことを知っていたけど、まさかそれ  
ほどまでのいカがある、ということは初めて  
知りました。先生の話を聞いて、想像した  
だけでもいたいと感じました。だけど

一番いたいと感じているのは、ひ爆者たち  
なんだなと思いました。きっと今までには

ありえないくらいのいたみかするんだろう

など私は、思います。あんなにも熱い熱風

などに、私だったらとてもじゃないけどたえ

きれないかもしれません。人生そんなに

やな思い出には、したくありません。

きっと言葉にできないくらいのいたみだと思

います。原爆も戦争もう絶対におきてほしくない

思いました。



原爆ドームが平和記念公園に前行ったことを思い出しました。その時は「スマホ禁止」や「撮映禁止」などの看板を見て「そんなに悲しい場所なんだ」と思いました。でも一番心に残っているのは「平和の火」というものです。これは「平和になるまで火は消さない」というものです。その時はまだ消えていなくて世界は平和ではないんだなと悲しくなりました。そして、広島はリオと川でつながったのでそれに似ているかな程度で聞いていたら思った以上に悲しい内容でした。広島に行った時のことを必死で思い出しながら広島での原爆先生の授業を聞きました。聞き方はそれぞれです。みなさんはどのように感じたのでしょうか。原爆先生はどのように言われたのでしょうか。それは容易にわかることではありません。そして一つ、不思議に感じたことがあります。それはとてもなつかしく感じたことです。生まれは長野で育ちは東京です。なのでとても不思議に思いました。そしてその感じたことは今も残っています。そしてこれから先もずっと糸をくと思えます。ずっと、ずっと。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は、ヒロシマにもし自分がいたらとてもこわいと思いました  
とくにこわいと思ったのは、直径3.12m 約4tの原爆「ソ  
トルボーイ」が600mでばくはっして人が死んでしま  
ったことです。

ばくはっした時の、熱は7000℃だと聞いたとき  
私はきょうふで手をずっとにぎっていました。

けれど、その中でも人々を助けようとしたが、みんな手  
をとるとがわがはがれてちががして「く」という話を聞  
くとせすじが今もゾッとします。

もし、あのとき自分がヒロシマにいたら？友達かヒロ  
シマにいたら？などを考えるとこわくてねむれなくな  
ってしまいます。

でも、その中でむしろに生きのこって、いっしょうけんめい  
人々を助けようとしたのはすごいと思いました。

私は、このじかんに生かえて幸せなんだなと思いました  
もしも、またせんそうがおきたらむしろに生きのこって  
人々をなぐさめたいと思います。

また、原爆先生の授業をうけたいと思います。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆はとても危ない、人類を滅亡させる可能性のある恐ろしい物だと実感しました。

今、地球では広島に落とされた原爆よりも何百倍も強い水爆が開発されています。

二度とこの地球に落とされることのないようにしてほしいです。

さらに今日学んだことを生かして、世界中の争いがおきている地域の平和的な解決と核をほうきずることについて少しずつ考えていきたいです。

名前(ふじわら)さん



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆のおそろしさやまじさがあったため感じました。

原爆はしょうがまじはあつさがいてし、しゅんのうち人があつるといっておそろしさがあったまいてるだけでおそろしかったです。

がそらやことばのつよさをあつてすてきあかりやすくはあしてして音を大きくしたり小さくしたりしてあつてしていました。

あつせんそらしてほしくあいてあ

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

広島県にB29 が落ちた14万人が亡くなり、14万人中2万人は一瞬として亡くなりました。

原爆先生のお父さんは生きていましたが、トラップにのって帰るとまに人間の形をしてない人がたくさんいたそうです。

そして原爆先生の話しによるとはく発でけむりができ上に上にいきましたか、けむりがこれ以上いけないので横にいきました。

そしてはく発のいいよくなひをとってついで言われてこの雲をとりました。